

令和4年度 善前小学校評価アンケートの結果について

向春の候、保護者の皆様には、ますます御健勝のこととお喜び申し上げます。日頃より本校の教育活動に御理解と御協力をいただき、ありがとうございます。
さて、二学期に実施した学校評価アンケートの結果がまとまりましたので、その概要を御報告させていただきます。

1 概要

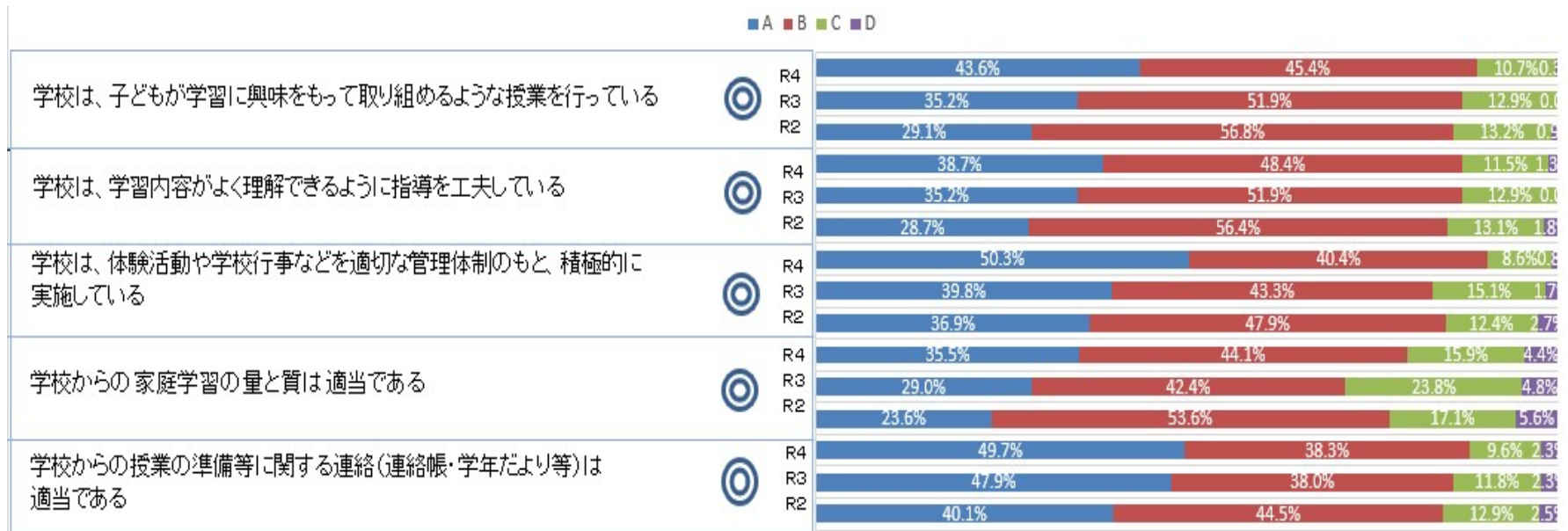
- (1) 調査期間 10月11日～10月15日
- (2) 調査人数 保護者 388名 (回収率62%)
児童 625名 (実施率99%)

2 調査及び結果について

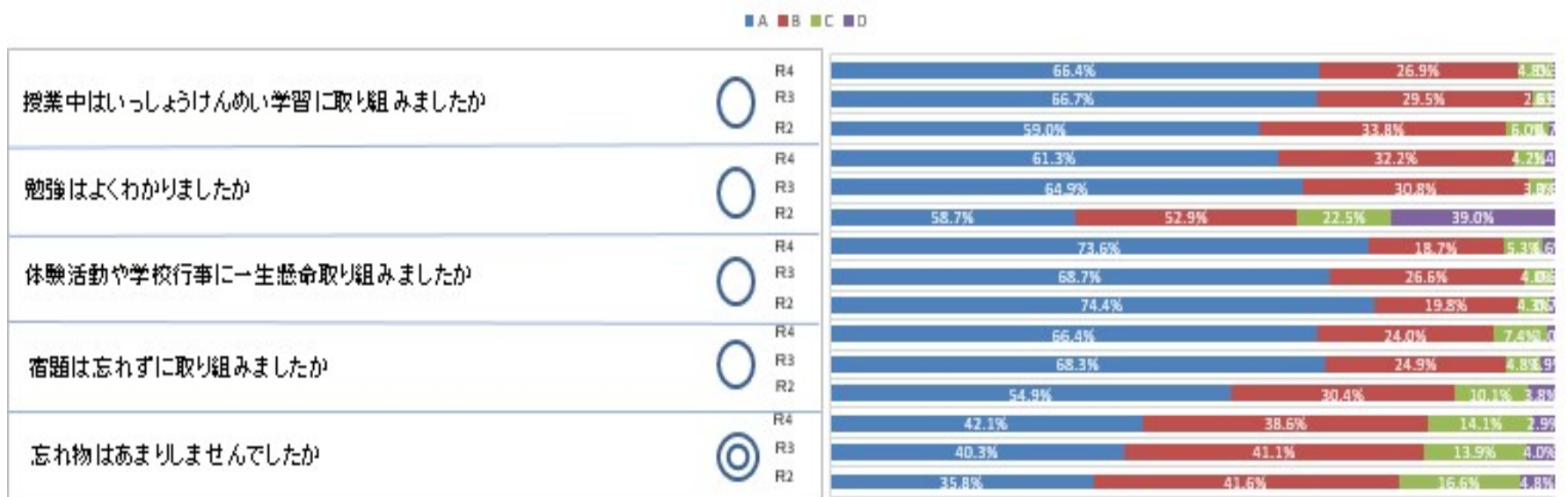
- ・学校教育目標（よく学び 心ゆたかに たくましく）の3観点と照らし合わせて評価項目を設定しています。
- ・今年度アンケート結果と昨年度、一昨年度のアンケート結果を比較して公表しています。
- ・◎＝令和3年度より向上 ○＝令和3年度より低下したものの、肯定的回答（A+B）が8割以上

A:当てはまる B:やや当てはまる C:やや当てはまらない D:当てはまらない N:わからない

<よく学ぶ子：保護者>



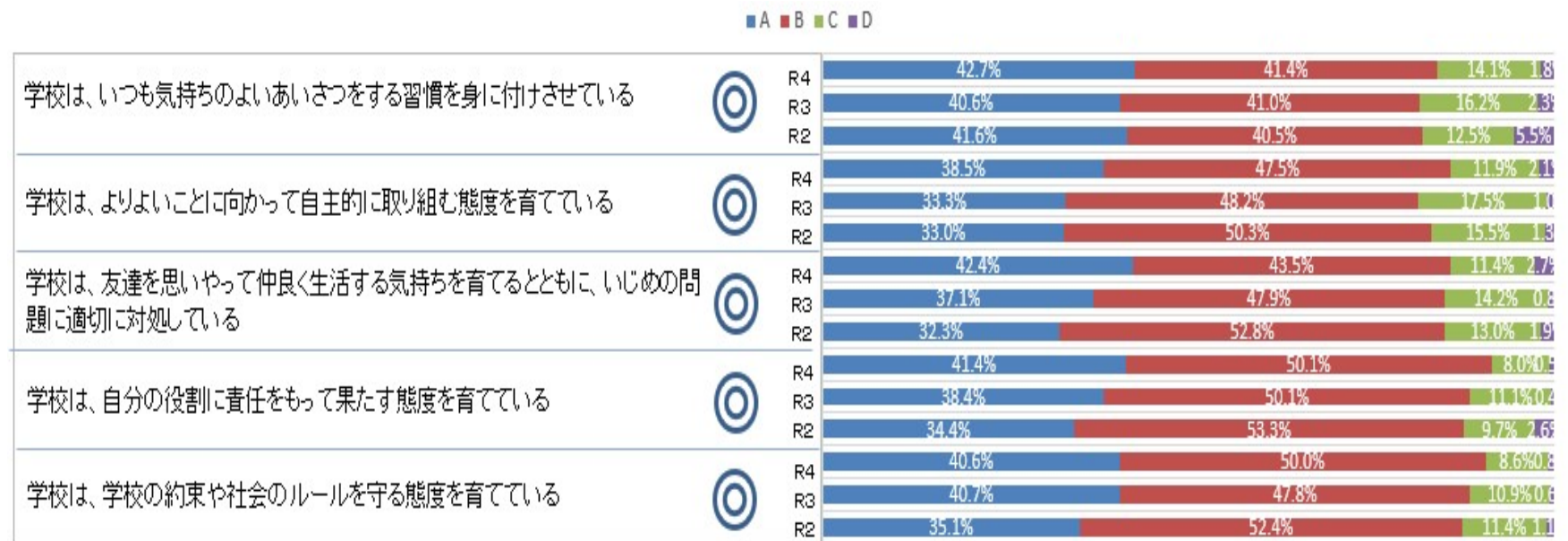
<よく学ぶ子：児童>



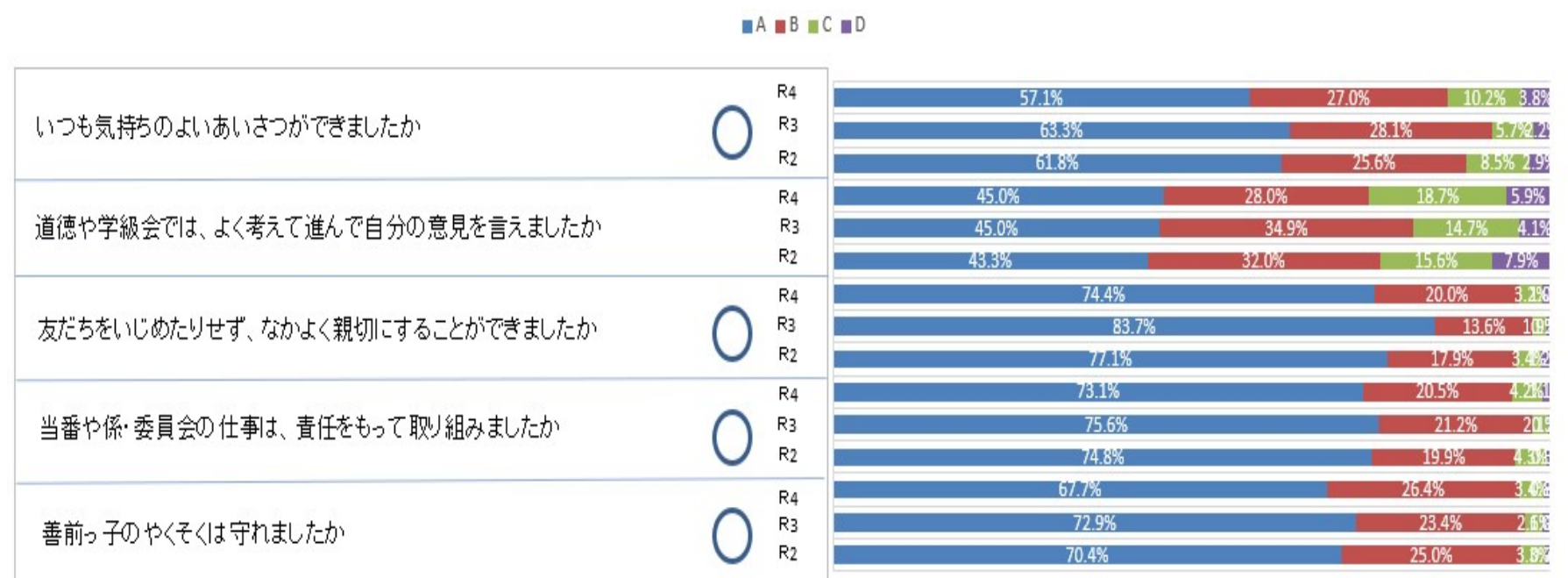
<よく学ぶ子> 考察 (○：成果 ●：課題 保：保護者 児：児童)

- 保の設問5「学校からの連絡」と、それに対応する児の設問5「忘れ物」については、昨年度を上回る肯定的回答が得られた。連絡帳等での家庭との連携はもちろん、高学年において家庭学習に必要な教科書を選んで持ち帰る仕組みが、児童の持ち物の管理に対する意識を高めたためと考える。
- 保の設問3「体験活動や学校行事」児の設問「体験活動や学校行事」については、どちらも高い評価となっている。今年度は、1学期に館岩自然の教室や親善バスケット大会などの行事も多く、児童も自身の頑張りを評価するとともに、その姿を見た保護者からも、体験活動や学校行事の意義について評価があったと考える。今後も体験活動や学校行事を充実させていきたい。
- 保設問2「指導の工夫」児「勉強の理解度」について、保護者の評価は昨年度より上回っているもののA評価が4割弱あり、児童の評価は昨年度より低くA評価が約6割である。今後も指導の工夫改善を行い、全ての児童の基礎学力向上を図っていく必要がある。

<心ゆたかな子：保護者>



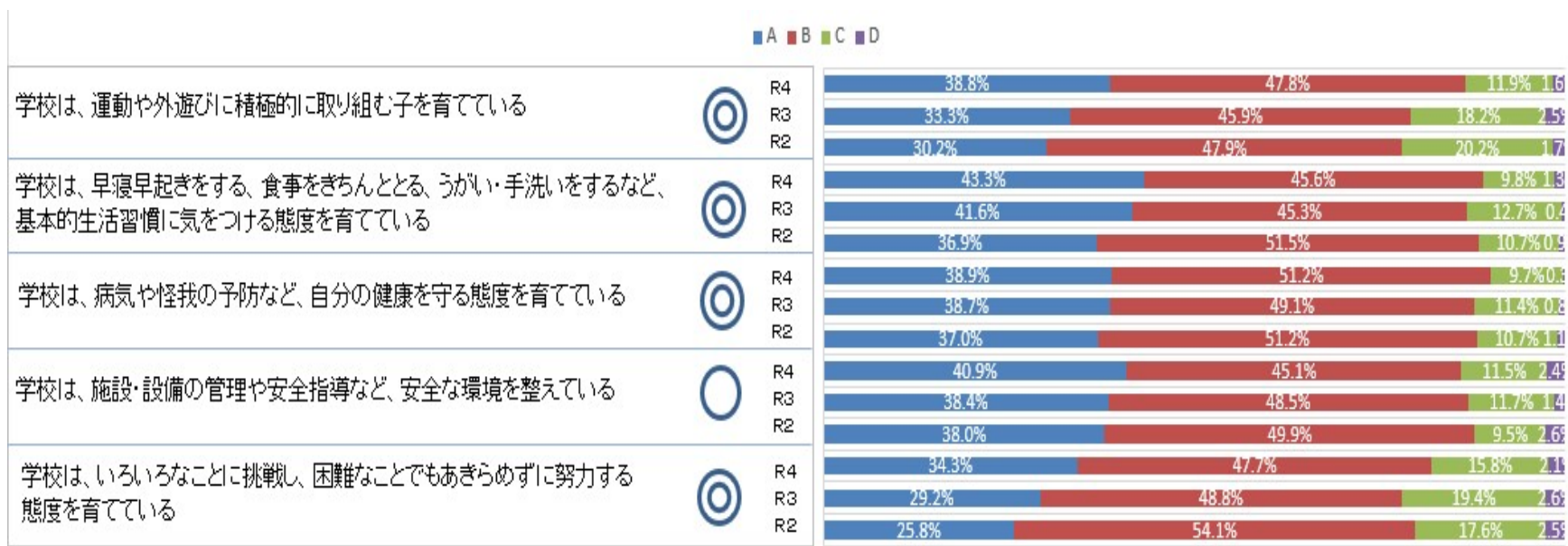
<心ゆたかな子：児童>



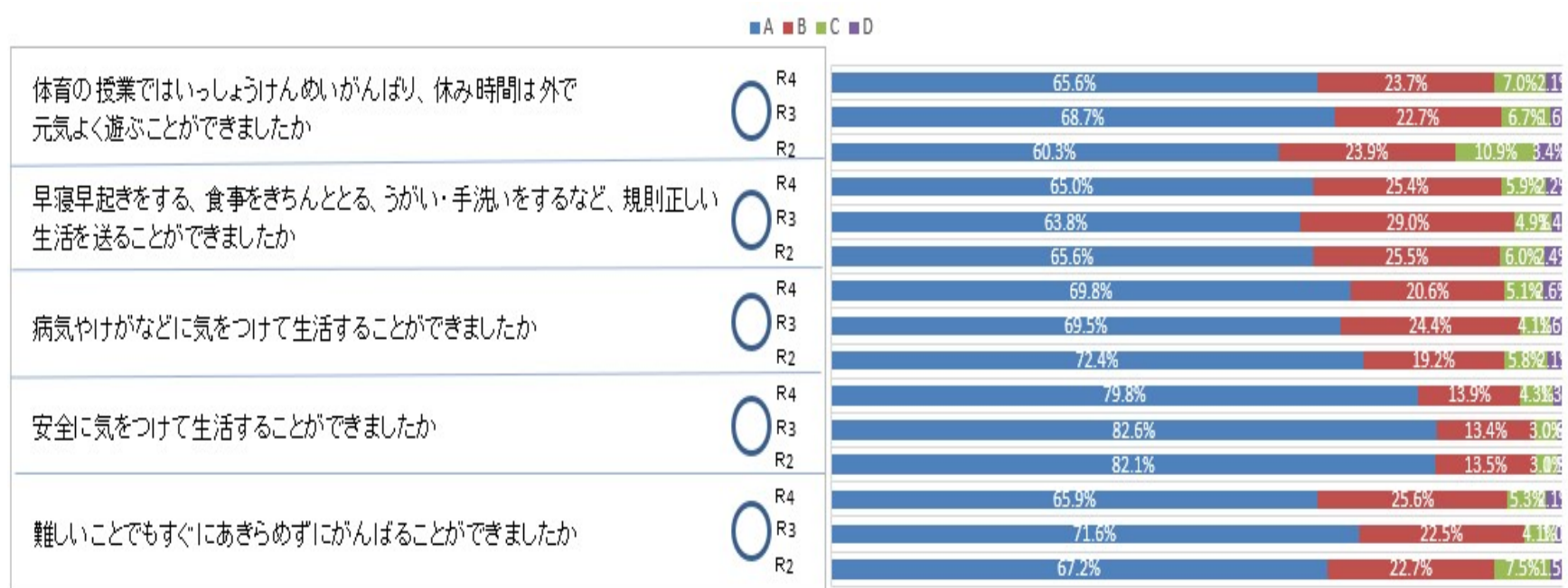
<心ゆたかな子> 考察 (○：成果 ●：課題 保：保護者 児：児童)

- 保護者からの回答では、全設問において昨年度を上回り、肯定的な回答が8割を超えた。学校における情操教育、生活面の指導等は、効果を上げているといえる。
- 児童からの回答でも、5項目中4項目においては肯定的回答が8割を超えた。設問3「いじめをしない・仲良く親切」では昨年度の結果を下回ったものの高い評価を維持している。「いじめは決して許されない」という教職員の指導のもと、友達と良好な人間関係を築くことができた児童が多かった。
- 保護者・児童あわせて10項目中、児の設問2「進んで自分の意見を発表」のみ、肯定的回答が約73%と他の評価よりも低い結果であった。本校は一昨年度より特別活動(学級会)において、児童が自分の意見を発表したり、友達の意見と比べたりする活動を軸に研究している。また、日頃から各教科でタブレット活用を含め多様な表現方法で自分の考えを発信する場面を設定している。その経験則をふまえ、道徳や学級会においても自分の考えを進んで発表することのよさ等を児童が実感できるよう指導していく。

<たくましい子：保護者>



<たくましい子：児童>

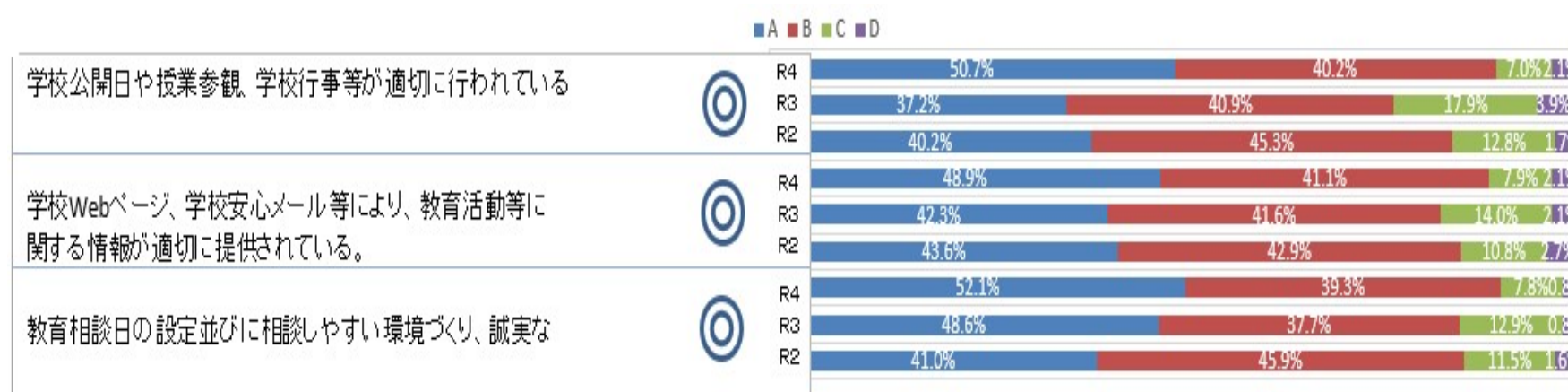


<たくましい子> 考察（○：成果 ●：課題）

○保護者、児童ともに全設問において肯定的回答が8割を超えた。加えて、保護者の回答においては、5項目中4項目の設問において昨年度の結果を上回ることができた。感染症対策には継続して取り組んでいるが、新型コロナウイルス感染症に配慮しつつ、形態や内容を工夫して運動の機会を保障したことで、健康、安全意識の指導においても一定の成果を上げることができた。

●児童からの回答では、5項目中全ての項目において、昨年度を下回る結果となった。その一方で肯定的な回答は8割を超えている。規則正しい生活習慣や健康の保持増進、安全に対する意識、ねばり強さ等について、様々な機会を捉え指導をしていくとともに、学校・家庭が連携し、共通した方針で児童に声をかけていく必要がある。

<家庭・地域との連携：保護者>



<家庭・地域との連携> 考察（○：成果 ●：課題）

○ 3項目中、全ての項目について昨年度を上回る肯定的回答が得られた。5月に個人面談、6月に公開週間を設定したことで、保護者に学校での子どもたちの様子を伝えることができた。今後も、感染症対策の徹底と、学校・家庭・地域間連携の充実を図っていく。

● 全ての項目において高い評価を得たが、今年度、4月の授業参観を実施することができなかった。より多くの保護者が授業参観の機会を得ることができるよう、学校行事の見直しを行う。

3 まとめ

- ・保護者・児童ともに、全体的に肯定的な回答の割合は高かったといえます（保18項目中17項目肯定的回答8割 児15項目中13項目肯定的回答8割）。今後も、学校では、教育活動の工夫改善に取り組み、学校生活の充実を図ってまいります。児童の姿も積極的に発信してまいります。授業参観、学校Webページの閲覧等で児童の頑張る姿を御覧いただけたら幸いです。
- ・「あいさつ」は心を伝える大切なメッセージであることを繰り返し指導しております。目を見て、自分からあいさつを元気よく行えるようあいさつ指導を継続していきます。是非、御家庭や地域においても、明るいあいさつをかわし合うことができるよう、御協力ください。
- ・いじめについては、今後も早期発見に努め、解消に向けて家庭と連携しながら組織的に対応してまいります。併せて、特別活動や「特別の教科 道徳」の充実を柱として、教育活動全体を通じて児童に「友達を思いやる、友達と仲よくする」気持ちを育てていきます。
- ・児童にとって「分かる授業」の充実を継続・推進していきます。今年度に引き続き、全ての児童が主体的に取り組めるような授業の工夫改善を行っていきます。また、高学年では、9教科担任制による授業を令和5年度より行っていく予定です。授業参観や学校公開日等の機会では、ぜひ授業を御参観いただき、御意見をお寄せください。
- ・今年度も、校庭遊具の点検や樹木の剪定等、施設面においても、安全確保に努めてまいりました。引き続き、安全な学校を目指し、日々の安全指導に力を入れていきます。また、様々な災害を想定した避難訓練や一斉下校、交通安全教室、自転車免許講習等の体験的な取組を継続していくとともに、教職員の研修・訓練も積極的に推進してまいります。今後も家庭や地域と連携しながら安全・安心な教育活動の推進に努めます。
- ・児童の健全な育成のためには、学校と家庭・地域の連携が不可欠です。今年度から、本校に「学校運営協議会」が設置され、コミュニティ・スクールとなりました。「地域とともにある学校」を目指し、家庭・地域との連携の一層の充実を図ってまいります。様々な場面で、「学校を核とした地域づくり」に御協力ください。

この度は、アンケートに御協力いただき、誠にありがとうございました。学校評価の結果及び皆様の御意見を踏まえ、次年度の教育活動に活かしてまいります。検討が必要なものについては、改善等が求められる時期を踏まえ、職員会議や各部会等の機会を活用し、随時、改善を図っていきます。

今後も善前小学校は、一人ひとりを大切にされた教育活動を推進してまいります。引き続き、本校の教育活動への御理解と御協力をよろしくお願いいたします。



これからも、善前小学校
が、よりよい学校になる
ようがんばろう！